

履歴書

2024年9月25日現在

てんりゅう ようへい
天龍 洋平

准教授

新潟県立大学国際経済学部

〒950-8680 新潟県新潟市東区海老ヶ瀬 471 番地

Eメール: mail@yoheitenryu.jp

ホームページ: <https://yoheitenryu.jp>

学歴

- 2015年3月 京都大学大学院経済学研究科経済学専攻
博士課程修了
- 2013年3月 京都大学大学院経済学研究科経済学専攻
博士課程研究指導認定退学
- 2010年3月 京都大学大学院経済学研究科経済学専攻
修士課程修了
- 2008年3月 京都大学経済学部経営学科 卒業

学位

- 博士(経済学) 京都大学 2015年3月
- 修士(経済学) 京都大学 2010年3月
- 学士(経済学) 京都大学 2008年3月

職歴

2024 年 4 月–現在に至る	九州工業大学部情報工学部非常勤講師
2021 年 4 月–現在に至る	大阪府立大学部現代システム科学域非常勤講師
2021 年 4 月–現在に至る	新潟県立大学国際経済学部准教授
2020 年 4 月–2021 年 3 月	新潟県立大学国際経済学部客員准教授
2017 年 4 月–2021 年 3 月	九州国際大学現代ビジネス学部准教授
2017 年 4 月–2019 年 3 月	西日本工業大学デザイン学部非常勤講師
2016 年 4 月–2017 年 3 月	九州国際大学経済学部特任准教授
2015 年 4 月–2019 年 3 月	京都府立大学公共政策学部非常勤講師
2015 年 4 月–2017 年 3 月	龍谷大学政策学部非常勤講師
2014 年 4 月–2016 年 3 月	日本学術振興会特別研究員 PD（大阪大学）
2013 年 4 月–2014 年 3 月	京都大学経済研究所研究員（科学研究）
2012 年 12 月–2013 年 1 月	京都大学経済研究所リサーチ・アシスタント (RA) 受入教員: 三野和雄教授
2012 年 5 月–2012 年 11 月	京都大学経済研究所リサーチ・アシスタント (RA) 受入教員: 矢野誠教授
2011 年 12 月–2012 年 1 月	京都大学経済研究所リサーチ・アシスタント (RA) 受入教員: 柴田章久教授
2011 年 8 月–2011 年 11 月	京都大学経済研究所リサーチ・アシスタント (RA) 受入教員: 矢野誠教授
2011 年 4 月–2011 年 5 月	京都大学経済研究所リサーチ・アシスタント (RA) 受入教員: 森知也教授
2010 年 10 月–2010 年 12 月	京都大学経済研究所リサーチ・アシスタント (RA) 受入教員: 柴田章久教授
2010 年 6 月–2010 年 9 月	京都大学経営管理大学院ティーチング・アシスタント (TA) 科目: 中級マクロ経済学, 遊喜一洋准教授
2009 年 7 月–2009 年 12 月	京都大学経済学研究科ティーチング・アシスタント (TA) 科目: マクロ経済学 1・2, 遊喜一洋准教授

所属学会

- 日本経済学会
- IEFS Japan
- Western Economic Association International (WEAI)
- American Economic Association

研究業績

学術論文誌

- Y. Tenryu, “The Role of the Private Sector under Insecure Property Rights,” *International Review of Economics*. **64**(3), 285-311, (2017).
- Y. Tenryu, K. Kamei, “Dynamic Voluntary Advertising and Vertical Product Quality,” *Economics Bulletin*. **33**(1), 564-574, (2013).

ディスカッションペーパー

- Y. Tenryu, “Capital Income Tax, Linear R&D Technology, and Economic Growth,” MPRA Paper No. 78706, University Library of Munich, Germany, 1-16, (2017).
- Y. Tenryu, K. Kamei, “Welfare Analysis of Dynamic Voluntary Advertising in Covered Markets,” MPRA Paper No. 60694, University Library of Munich, Germany, 1-32, (2014).
- Y. Tenryu, K. Kamei, “Dynamic Voluntary Advertising under Partial Market Coverage,” KIER Discussion Paper series No. 909, 1-28, (2014).
- Y. Tenryu, “Interest in Private Assets and the Voracity Effect”, KIER Discussion Paper series No. 850, 1-19, (2013).

日本語論文

- 川脇慎也, 天龍洋平, 新美尚行, 「初年次教育用テキスト作成の事例報告」, mimeo, (2024).
- 藤野義和, 天龍洋平, 「なぜファミリービジネスを継がないのか?～学生の事業承継意識を通じた大学の役割の探索～」, 九州国際大学社会文化研究所紀要, 第 78 号, 71-93, (2017).
- 矢野誠, 小松原崇史, 萩原里紗, 深堀遼太郎, 田中藍子, 天龍洋平, 金原大植, 「市場の質理論と実証研究」, MQ Discussion Series, 2014-009, 1-17, (2014).

著書・編著

- 天龍洋平, 「第 I 部 6 章 成長と豊かさ」, 「第 I 部 8 章 経済政策」, 若杉隆平編著, 『基礎から学ぶ国際経済と地域経済 第 2 版』, 文眞堂, (2024).
- 天龍洋平, 「第 I 部 6 章 成長と豊かさ」, 「第 I 部 8 章 経済政策」, 若杉隆平編著, 『基礎から学ぶ国際経済と地域経済』, 文眞堂, (2020).
- 天龍洋平, 田鹿紘, 山本雄三, 中間信博, 『2019 年度 入門セミナーテキスト』, 九州国際大学現代ビジネス学部地域経済学科, (2019). (簡易製本)
- 天龍洋平, 田鹿紘, 山本雄三, 中間信博, 『2018 年度 入門セミナーテキスト』, 九州国際大学現代ビジネス学部地域経済学科, (2018). (簡易製本)

学会・セミナー発表

英語

- Y. Tenryu, “Capital Income Tax, R&D Technology, and Economic Growth,” Western Economic Association International 97th Annual Conference, Hilton Downtown Portland, Oregon, USA, 2022 年 7 月.
- Y. Tenryu, K. Kamei, “Dynamic Voluntary Advertising under Partial Market Coverage,” Western Economic Association International 11th

International Conference, the Museum of New Zealand Te Papa Tongarewa, New Zealand, 2015 年 1 月.

- Y. Tenryu, “The Role of the Private Sector under Insecure Property Rights,” 13th Annual SAET conference, MINES ParisTech, France, 2013 年 7 月.
- Y. Tenryu, “Interest in Private Assets and the Voracity Effect,” Western Economic Association International 10th Biennial Pacific Rim Conference, Keio University, Japan, 2013 年 3 月.
- Y. Tenryu, “The Role of Informal Sector under Insecure Property Rights Game,” Western Economic Association International 87th Annual Conference, Hilton San Francisco, USA, 2012 年 6 月.

日本語

- 天龍洋平, 「初年次教育用テキスト作成の事例報告」, 第 72 回九州地区大学教育研究協議会, 沖縄県市町村自治会館, 2024 年 9 月.
- 天龍洋平, “Production externality, industrial growth, and patent cooperation,” マクロ経済学セミナー, 京都大学, 2024 年 5 月.
- 天龍洋平, “Capital Income Tax, Linear R&D Technology, and Economic Growth,” KIER 共同研究プロジェクト主催ワークショップ「不確実性と経済成長」, 西南学院大学, 2019 年 1 月.
- 天龍洋平, “Capital Income Tax, Linear R&D Technology, and Economic Growth,” 国際産業経済研究セミナー, 新潟県立大学, 2018 年 5 月.
- 天龍洋平, “Welfare Analysis of Dynamic Voluntary Advertising in Covered Markets,” 京都大学マクロ経済学研究会, 京都大学, 2014 年 10 月.
- 天龍洋平, “Dynamic Voluntary Advertising under Partial Market Coverage,” 国際貿易に関する理論・実証研究の拠点形成と大学院教育の高度化 ランチタイム・ワークショップ, 京都大学, 2014 年 1 月.
- 天龍洋平, “The Role of Private Sector under Insecure Property Rights,” 日本経済学会 2013 年度春季大会, 富山大学, 2013 年 6 月. (ポスター報告)

- 天龍洋平, “The Role of Private Sector under Insecure Property Rights,” GCOE 研究会「マクロ経済動学のフロンティア」, キャンパスプラザ京都, 2012 年 12 月.
- 天龍洋平, “Interest in Others’ Private Asset and the Voracity Effect,” 若手研究者によるマクロ経済研究会, 京都大学, 2012 年 11 月.
- 天龍洋平, “Observability and Voracity,” 国際貿易に関する理論・実証研究の拠点形成と大学院教育の高度化 ランチタイム・ワークショップ, 京都大学, 2012 年 7 月.
- 天龍洋平, “Institution, Growth, and Technological Diffusion,” 国際貿易に関する理論・実証研究の拠点形成と大学院教育の高度化 ランチタイム・ワークショップ, 京都大学, 2010 年 10 月.
- 天龍洋平, “Insecure Property Rights and Growth: A Case of the Cost to Protect Private Goods Existing,” 京都大学マクロ経済学研究会, 京都大学, 2010 年 4 月.